

苦難と相続

7月20日はお父様のダンベリー苦難の日です。ちょうど30年前です。そして多くの方たちが悔しくて泣いた日です。お父様はアメリカに渡り、アメリカよ目を覚ませ、建国精神に戻れとメッセージを語られ、活動されて来られました。そして多くの青年たちが統一運動に同参してきました。最初は歓迎しておりましたが、青年の数が膨らんでいくにつれて驚異的に思ったのも事実です。そこで口座に入っている預金の利息に対しての税金を払わなかったということで、法廷に立たされる結果になりました。アメリカにいないければ牢獄に入る必要がありませんでしたが、あえて牢獄に入っていられました。統一教会の信仰とは何でしょうか。苦難というものはいろんなことを教えてくれるのです。苦難を好きな人は誰もいません。しかし復帰の道を歩んでいくには、苦難の道をあえて進んでいかなければならないのです。墮落した瞬間から苦勞が始まったのです。蕩減復帰の観点から苦勞の道を通らなければ解放される道がないのです。そして特にその苦勞と言うものを強調しているのが統一教会であるのです。楽なことを願い統一教会に来た人が多いのですが、それは全く反対であります。自分を中心とした疎外感や墮落した直後から始まりました。他者を中心とした生活は苦痛を伴うかもしれませんが、最後は必ず栄光がついてくるというのです。これが信仰の公式です。そこで父母様の教えは、もっと苦勞の道を行きなさいという事です。苦難の神様を教えて下さったのが、真のお父様でありました。苦難は救いの道でもあるので、誰かが行けと行った道ではなく自らが行った道です。お父様が苦勞した精誠の条件は、誰も奪うことが出来ません。サタンすら奪うことが出来ません。そのような道は私たちが相続していかなければならないのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 聖和 2 周年特別精誠期間
TFが聖和され、震災3年を越え2014年7月にラスベガスのPeacePalaceがついに奉獻されることになりました。聖和の直前まで日本を愛してくださったTFの愛を追慕し震災から3年の期間を象徴した3次に渡る2周年特別精誠期間をもって参りますので天一国時代を超えて日本の復興を具体的に天に奉獻して参りましょう。
1次:天曆2月3日(陽曆3月3日)~天曆4月2日(陽曆4月30日)
2次:天曆4月3日(陽曆5月1日)~天曆6月4日(陽曆6月30日)
3次:天曆6月5日(陽曆7月1日)~天曆7月16日(陽曆8月11日)
3. 真のお父様聖和二周年 93 日伝道路程
◆条件:「原理講論」または「天聖經」完読
◆目標:一家庭祝福伝道
◆期間:2014年5月12日~8月12日(陽曆)
4. 第 24 回七・一節および第 18 回七・八節記念礼拝
日時:天一国 2 年天曆7月1日(陽 7.27)日曜日
場所:浦和教会
5. 平和統一聯合3連合ピースバイク2014歓迎会
日時:7月31日(木)PM1:00~PM3:30
場所:大宮教会
参加対象:FPU会員、南北統一に関心のある方
6. 第 6 回天一国フェスティバル
日時:8月3日(日)12:30開場、13:20開会
場所:埼玉会館
7. 真のお父様聖和2周年訪韓
日時:8月11日~13日
8月12日:文鮮明天地人真の父母天宙聖和2周年追慕式
8. VISION2020 勝利の為の基台長及び区域長修練会
第15回:2014年 9月18日(木)~9月23日(火)
第16回:2014年 10月25日(土)~10月30日(木)



【年頭標語】

참조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는 천일국의 참주인이 되자!

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神靈協会

教区長: 李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

第24回七・一節、第18回七・八節記念礼拝



執礼者：五十嵐政彦地区長
司会者：伊東哲也

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 29番	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	中村敏樹
讃 頌 聖歌 56番	全 体
説 教	五十嵐政彦地区長
※讃 頌 聖歌 11番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

第1回七・一節(1991)み言要約

祝福を受けたことが全てではありません。神様の心情圏を引き継ぐための時代が到来するにしたがって、私たちは、神様が歴史的な伝統を立てるために努力して来られたということを知らなければなりません。

氏族的メシヤとなり、家庭教会をするように発表してから7年が経ちました。7年間教えてきたのです。これまでそうするという決意と覚悟で、夜を明かしながら努力した人がいますか？

天がヤコブを選んだ時、ヤコブはヤボク川のほとりで夜通し格闘し、天使に勝つまでどれだけ気をもんだことでしょうか？

『イスラエル』という名前を地上に宣言したその瞬間、どれだけ息が詰まったことか分かりません。この地に真の父母が来られたにもかかわらず、世界はいい加減に扱いました。皆、先生を利用しようとし、先生は利用されてきました。今日、この時間7月1日、皆様は自ら呵責を感じ、自己の姿を支えられないほどの慙愧(ざんき:深く恥じること)の念をもち、痛哭して悔い改めなければなりません。痛哭してでも悔い改めることができる位置に立ったことを知らなければなりません。

今まで宗教は多くの血を流しました。血を流したその代価、価値がどこかに行き、実を結ぶことができずにいるのです。

その実が真の父母です。真の父母によって宗教圏、政界圏、民主世界と共産圏が統一されるのです。今は何をすればいいかと言えば、統班撃破と家庭定着です。それは先生が指示したものです。生死がかかった重要なことであり、天下を得るか失うかという戦いです。このような深刻な時に傍観していることができますか？

統一運動

真のお母様をお迎えして2014ハワイ修練会

天地人真の御父母様の特別な指示にもとづいて準備されたハワイ修練会はハワイ島のハワイアン・クイーン・コーヒージャガーデンで天曆6月26日(陽曆7月22日)始まった。真のお母様から招請を受けた47人の修練生など66人が参加した。真のお母様は「私を初めて見る人はいますか？実際に見るとどうですか？」と尋ねられながら修練生と一緒に心のこもった挨拶を交わされた。そして「皆さんに与える言葉は『天の父母様と天地人真の父母様の真の愛を伝播する水になれ』です。水は、人、万物、動物に関わらず生命を持つすべての存在に必ず必要なものです。私たちは息を少し止めていることはできますが、水がない場合はどうなりますか？死んでしまいます。ところで最も大切な水が間違っ使用されて、汚染されて、すべての生き物を殺すようになってはいけませんね？皆さんは、真の父母様によって6000年ぶりに誕生した祝福家庭のPure Waterです。純粋な水です。ですから、皆さんが行く所にあるすべての生命体が喜ばなければなりません。しかし今日、私たちの環境はそうなっていないのです。なぜそうなのか、皆さんが今日から始まる修練会を通して真の父母様がどういう方なのか、皆さんの責任と使命が何であるのか、その間、真の父母様がいかなる勝利的環境を成し遂げられたのか、皆さんが直接見て、じかに体験して下さい。まだ成長過程にあるので今回の期間を通じて大きい夢を持つようにして下さい」と修練生に貴重なみ言を下された。

